



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社ファルテック

上場取引所 東

コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文屋 仁志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 篠田 好洋

TEL 044-520-0290

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,984	4.2	121		196		136	
2019年3月期第1四半期	20,869	4.3	46	76.7	12	93.4	2	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 333百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 264百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	14.57	
2019年3月期第1四半期	0.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	71,095	18,840	23.8	1,801.55
2019年3月期	71,297	18,779	23.7	1,800.88

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 16,894百万円 2019年3月期 16,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		29.00	29.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	1.9	2,100	2.0	2,250	1.1	2,000	92.5	213.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	9,378,600 株	2019年3月期	9,378,600 株
2020年3月期1Q	628 株	2019年3月期	628 株
2020年3月期1Q	9,377,972 株	2019年3月期1Q	9,377,976 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、米国の保護主義的な政策の影響や米中の貿易摩擦に対する警戒感、英国のEU離脱問題等により世界経済の不確実性が増しており、国内においても堅調な企業収益や雇用等の改善傾向に一服感が見られ、景気回復基調が崩れつつあります。当社グループの属する自動車業界の概況は、海外における不確実性が増す中で先行きに不透明感が出てきております。

このような情勢の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、グローバルでお客様の生産台数減の影響を受け19,984百万円（前年同期比4.2%減）となりました。営業損失は、売上高減少の影響等により121百万円（前年同期は46百万円の営業利益）となりました。経常損失は、営業利益減及び藤沢物流センター閉鎖に伴う事業所閉鎖損の計上等により、196百万円（前年同期は12百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、特別利益として英国子会社において課徴金返還額60百万円を計上し136百万円（前年同期は2百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産台数減の影響等により15,202百万円（前年同期比2.8%減）となりました。セグメント損失は、売上高減少の影響や第2四半期立ち上がりの新規車種の準備費用計上等により216百万円（前年同期は36百万円のセグメント損失）となりました。

(アジア)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産台数減の影響等により2,320百万円（前年同期比14.6%減）となりました。セグメント利益は、売上高減少の影響等により99百万円（前年同期比51.7%減）となりました。

(北米他)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産台数減の影響等により2,461百万円（前年同期比2.2%減）となりました。セグメント損失は、売上高の減少影響を英国子会社の現場改善効果等によりカバーしたことで前年同期比87百万円改善し47百万円（前年同期は134百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における総資産は71,095百万円となり、前連結会計年度末比で201百万円の減少となりました。このうち、流動資産は37,976百万円となり、前連結会計年度末比で599百万円減少しました。固定資産は33,118百万円となり、前連結会計年度末比で397百万円増加しました。流動資産の主な増減は、たな卸資産の増加1,069百万円、現金及び預金の増加650百万円に対して、受取手形及び売掛金の減少2,215百万円等によるものであります。固定資産の主な増減は、有形固定資産の増加334百万円等によるものであります。

負債は52,255百万円となり、前連結会計年度末比で262百万円減少しました。このうち、流動負債は37,435百万円となり、前連結会計年度末比で627百万円増加しました。固定負債は14,819百万円となり、前連結会計年度末比で890百万円減少しました。流動負債の主な増減は、支払手形及び買掛金の減少444百万円、賞与引当金の減少557百万円に対して、短期借入金の増加1,649百万円等によるものであります。固定負債の主な増減は、長期借入金の減少916百万円等によるものであります。

純資産は18,840百万円となり、前連結会計年度末比で61百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金の減少408百万円、為替換算調整勘定の増加382百万円、非支配株主持分の増加54百万円等であります。利益剰余金の減少は、剰余金の配当による減少271百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失136百万円によるものであります。

この結果、当四半期連結会計期間末の自己資本比率は23.8%（前連結会計年度末比で0.1ポイント増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,976	10,627
受取手形及び売掛金	19,926	17,710
商品及び製品	3,367	3,944
仕掛品	568	727
原材料及び貯蔵品	2,993	3,326
その他	1,757	1,653
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	38,575	37,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,425	9,595
機械装置及び運搬具(純額)	8,373	8,217
工具、器具及び備品(純額)	1,281	1,317
土地	6,983	7,376
リース資産(純額)	940	1,143
建設仮勘定	1,810	1,497
有形固定資産合計	28,814	29,149
無形固定資産	1,093	1,150
投資その他の資産		
投資有価証券	324	307
繰延税金資産	1,933	2,044
その他	561	474
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,813	2,819
固定資産合計	32,721	33,118
資産合計	71,297	71,095

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,114	8,669
電子記録債務	5,927	5,767
短期借入金	9,713	11,362
1年内返済予定の長期借入金	5,144	5,228
リース債務	703	702
未払法人税等	298	103
賞与引当金	949	391
その他	4,957	5,209
流動負債合計	36,808	37,435
固定負債		
長期借入金	8,773	7,857
リース債務	192	393
退職給付に係る負債	5,451	5,283
再評価に係る繰延税金負債	1,007	975
その他	285	309
固定負債合計	15,709	14,819
負債合計	52,517	52,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	609
利益剰余金	11,668	11,259
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,568	14,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	71
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,935	1,967
為替換算調整勘定	1,229	1,612
退職給付に係る調整累計額	△923	△916
その他の包括利益累計額合計	2,320	2,735
非支配株主持分	1,890	1,945
純資産合計	18,779	18,840
負債純資産合計	71,297	71,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	20,869	19,984
売上原価	18,267	17,649
売上総利益	2,601	2,334
販売費及び一般管理費	2,555	2,455
営業利益又は営業損失(△)	46	△121
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	7	7
持分法による投資利益	20	13
その他	27	37
営業外収益合計	60	64
営業外費用		
支払利息	33	53
為替差損	22	41
事業所閉鎖損	-	32
その他	37	12
営業外費用合計	93	140
経常利益又は経常損失(△)	12	△196
特別利益		
補助金収入	17	-
課徴金返還額	-	60
特別利益合計	17	60
特別損失		
固定資産除売却損	-	8
特別損失合計	-	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	30	△144
法人税等	△7	△22
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37	△121
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	14
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△136

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37	△121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△7
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	—	32
為替換算調整勘定	△336	422
退職給付に係る調整額	57	7
その他の包括利益合計	△301	454
四半期包括利益	△264	333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△255	278
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	54

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（IFRS第16号「リース」の適用）

米国を除く在外連結子会社において、国際財務報告基準（IFRS）第16号「リース」（2016年1月13日）を当第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計基準の適用については、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（会計上の見積りの変更）

（退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更）

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として12年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期連結会計期間より費用処理年数を10年に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,636	2,715	2,517	20,869	-	20,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	243	13	3	260	△260	-
計	15,880	2,729	2,520	21,129	△260	20,869
セグメント利益又は損失 (△)	△36	205	△134	34	11	46

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,202	2,320	2,461	19,984	-	19,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	215	43	3	262	△262	-
計	15,418	2,363	2,464	20,246	△262	19,984
セグメント利益又は損失 (△)	△216	99	△47	△164	42	△121

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。